

—さあ、Scienceの帆を上げよう!!—は、全校生徒に募集しその中から選ばれたSSHのキャッチコピーです。本校校歌にある「徳の帆を上げ知恵の舵」に由来するものです。

## ～課題研究中間発表会～

9月14日(木)SSH事業の一環である課題研究の中間発表会が行われました。生徒達は4月からの研究の成果をパワーポイント資料にまとめ、パネルに貼り、ポスターセッション形式で発表を行いました。発表はそれぞれの課題研究を3グループに分けて行い生徒同士で質疑応答できるようにしました。先生方も発表を聞き、質問やアドバイスをする姿も多く見られました。また、学校評議委員の方々に来校して頂き専門的なアドバイスを頂くこともできました。今後は更に研究を深めていく予定です。



### 〈フェボナッチ数列〉

馴染みの無い数列について知ってもらうために、言葉や数式について知らない人でも分かるように説明することが大変でした。

### 〈重曹の応用技上級編〉

同じ説明を何度か繰り返さなくてはならないのが大変でした。声をはっきりを出せていなかったことが反省点です。説明の原稿を知らない人が分かるように考え、文章の内容を推敲しておくべきでした。

### 〈Y・D・Y、やればできる山ノ内〉

周りの発表と自分達の発表を比べると、今後の改善点が見える取り組みでした。また、今以上に何かできるのではという可能性が見えるいい機会でした。

## ★1学年 サイエンスツアー★

SSH事業にともなう授業SS1・探究基礎の一環として、1学年の生徒がそれぞれ研修を行いました。

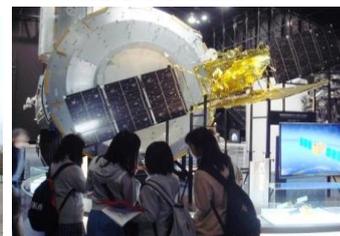


### 普通科

普通科の生徒は、大学・専門学校・企業を訪れ、最先端の科学・技術の見学・体験研修を行いました。それぞれの進路にあわせた3つのコースが設定されました。実際に見学・体験することで、より一層、興味や関心を深めることができ、とても良い研修となりました。

### 探究科

探究科の生徒は、JAXA・サイバーダインスタジオ・東京大学・首都大学東京・日本科学未来館・東芝未来科学館を訪れ、最先端の科学・技術について見学・体験を行いました。事前に研修先について調べ学習を行い、疑問点を明らかにした上で研修に臨みました。各々の興味・関心によってコースに分かれて大学の研究室などを訪問したので、事後学習ではそれぞれのコースで学んだことをプレゼンテーションし、「そのコースに行っていない人に分かる」よう発表を行うことで学習を深めました。



ご意見・ご要望はこちらへ

飯山北・飯山高等学校

〒389-2253 長野県飯山市大字飯山 2610 番地

TEL 0269(62)4175 FAX 0269(81)1072

URL <http://www.nagano-c.ed.jp/iikita/>

E-mail [iikita@nagano-c.ed.jp](mailto:iikita@nagano-c.ed.jp)

